

国営東京臨海広域防災公園の役割 ～首都直下地震における防災拠点など～



国営昭和記念公園事務所 事務所長 辻野 恒一

整備の経緯

阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発災）



【経験（例）】

- 甚大な被害（戦後初の大都市直下型地震）
- 情報網の寸断、行政機能のマヒ状況の発生 等

↓

【対応（例）】

- 災害対策基本法の改正（現地災害対策本部の法定化を含む）
- 初動体制・情報システムの整備
- 消火・救出活動に係る連携体制の強化
- 救援物資の受入体制や医療体制の充実 等

都市再生プロジェクト第1次決定（平成13年6月）

「東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備」の決定

↓

「首都圏広域防災拠点整備協議会」の設置

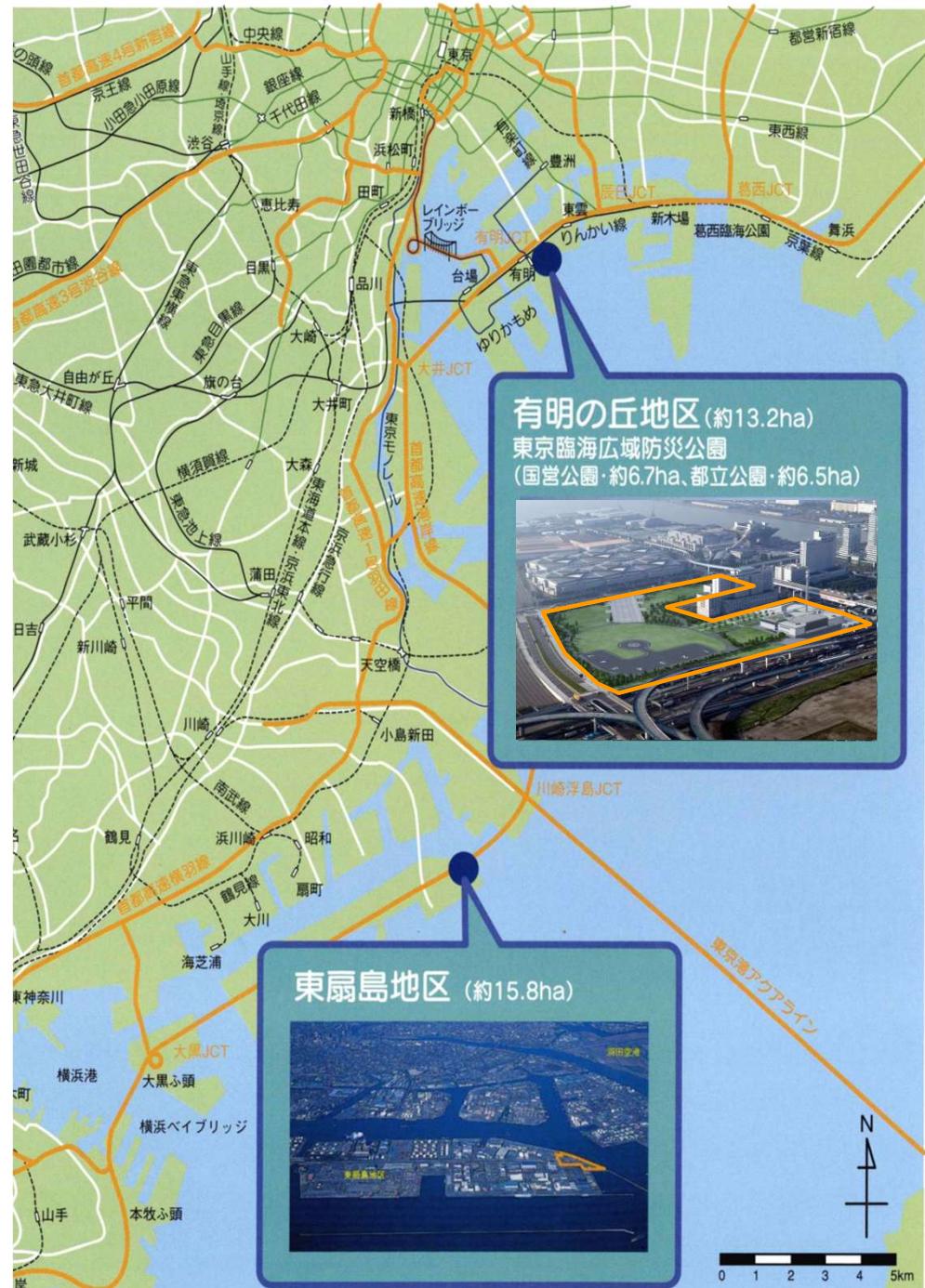
関係府省庁と関係都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市）による整備方策の検討

↓

有明の丘地区（東京都江東区）、東扇島地区（神奈川県川崎市）に
「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」の整備を決定

↓

平成18年3月施設建設着手、**平成20年6月運用開始（両地区）**



施設の機能（発災時）

緊急災害現地対策本部

■首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成28年3月 中央防災会議幹事会）

- 政府は、首都直下地震が発生した場合には、被災都県災害対策本部と密接な連携を図るため、被害状況に応じて、速やかに政府現地対策本部を設置する。
政府現地対策本部の設置場所は、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘地区）のほか、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の各都県庁のうち、1箇所若しくは複数個所に設置する。

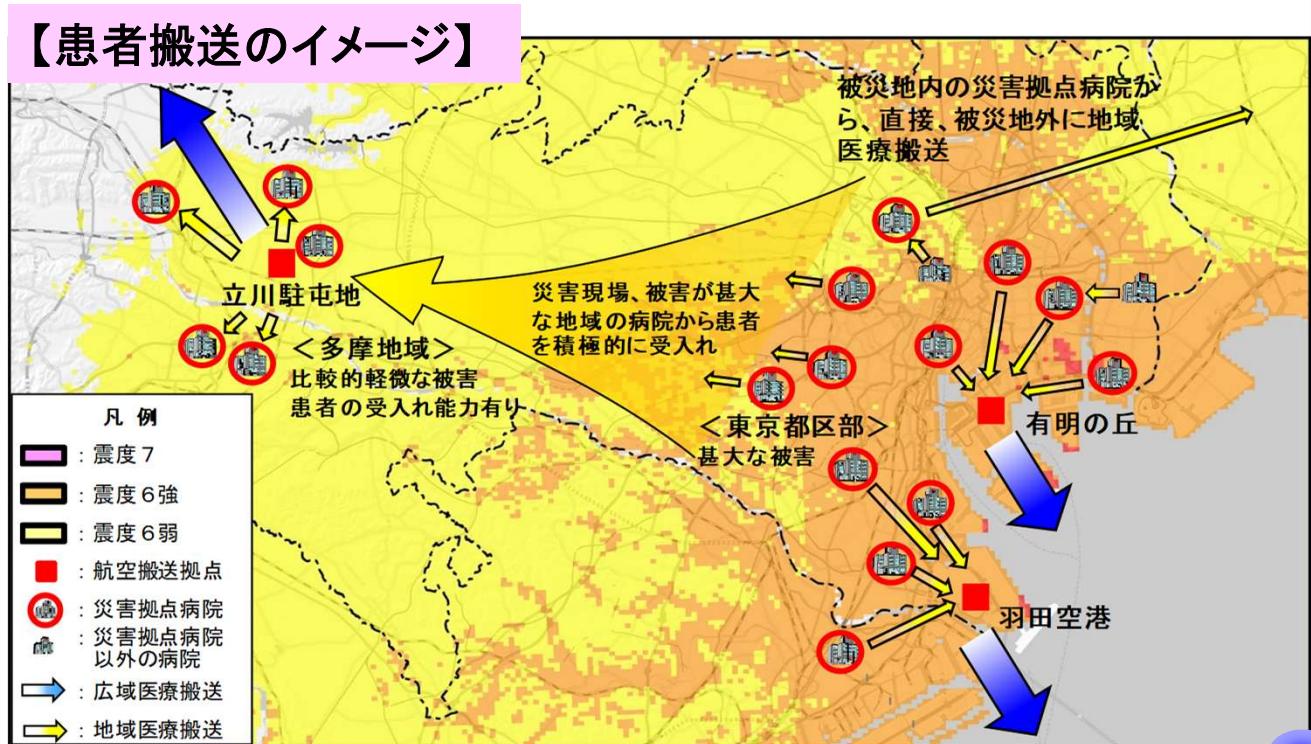
災害応急対策活動を行う拠点

■首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成28年3月 中央防災会議幹事会）

- 救助活動拠点としての活用
 - ・警察、消防、自衛隊等の各部隊が指揮、宿営、資機材集積等に活用



- 航空搬送拠点等としての活用
 - ・被災地の患者を周辺医療機関へ搬送する拠点等として活用



施設の概要（有明）



オペレーションルーム
約960m²、座席数186(他に打合せスペース84席)
リアプロジェクションモニター(300インチ)



本部会議室
約170m²、座席数52、リアプロジェクションモニター(100インチ)



本部棟

建築面積: 約6,100m²、延床面積: 約9,500m²、地上2階建て
(有明の丘基幹的広域防災拠点施設は本部棟内にある防災施設です)

- 建物全体を免震装置の上に配置(通信専用アンテナ塔を含む)
- 中央防災無線(地上系及び衛星系)で全省庁及び全都道府県と接続
- 映像伝送(東京・埼玉・神奈川・千葉)、テレビ会議、ヘリテレ映像の取込みも可能
- 非常用自家発電装置(7日間の連続運転可能)
- 備蓄食糧、飲用水等を、7日間分確保

本部棟平面図

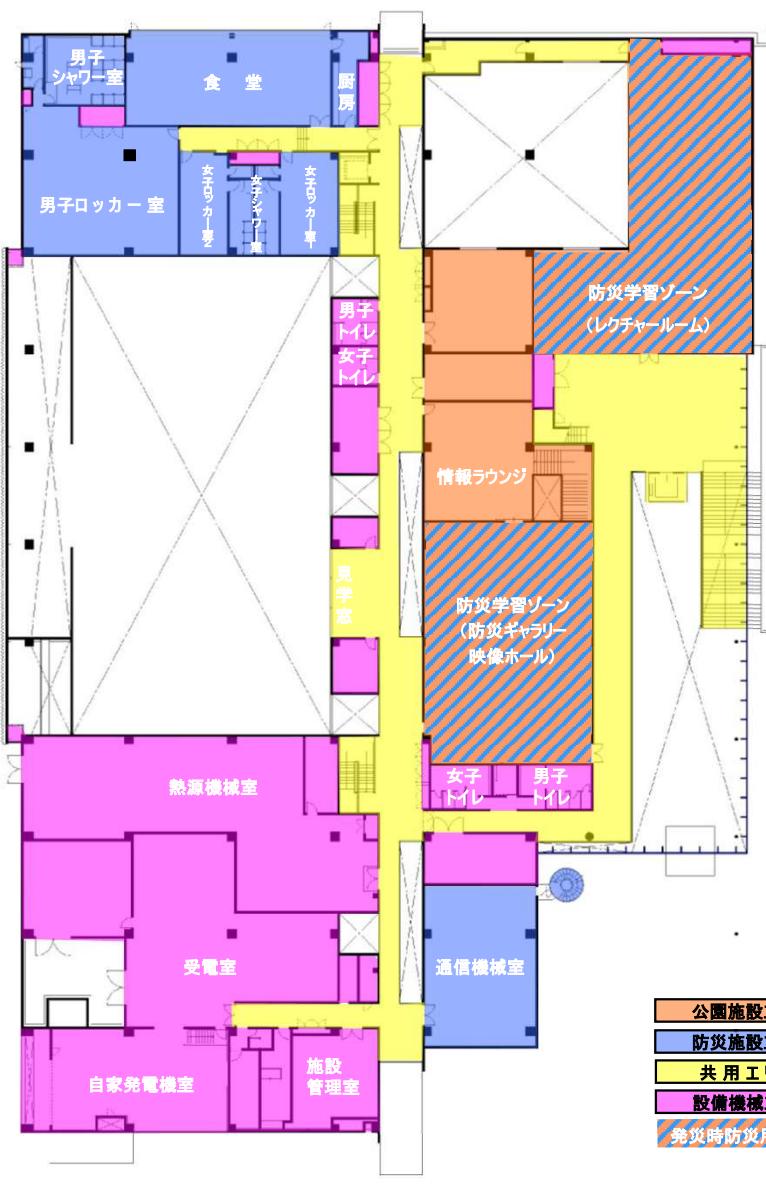
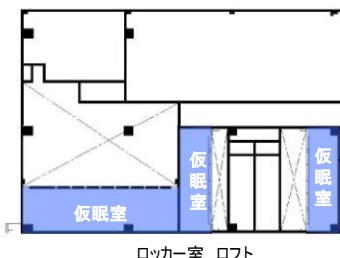
1階



ヘリポート
↑

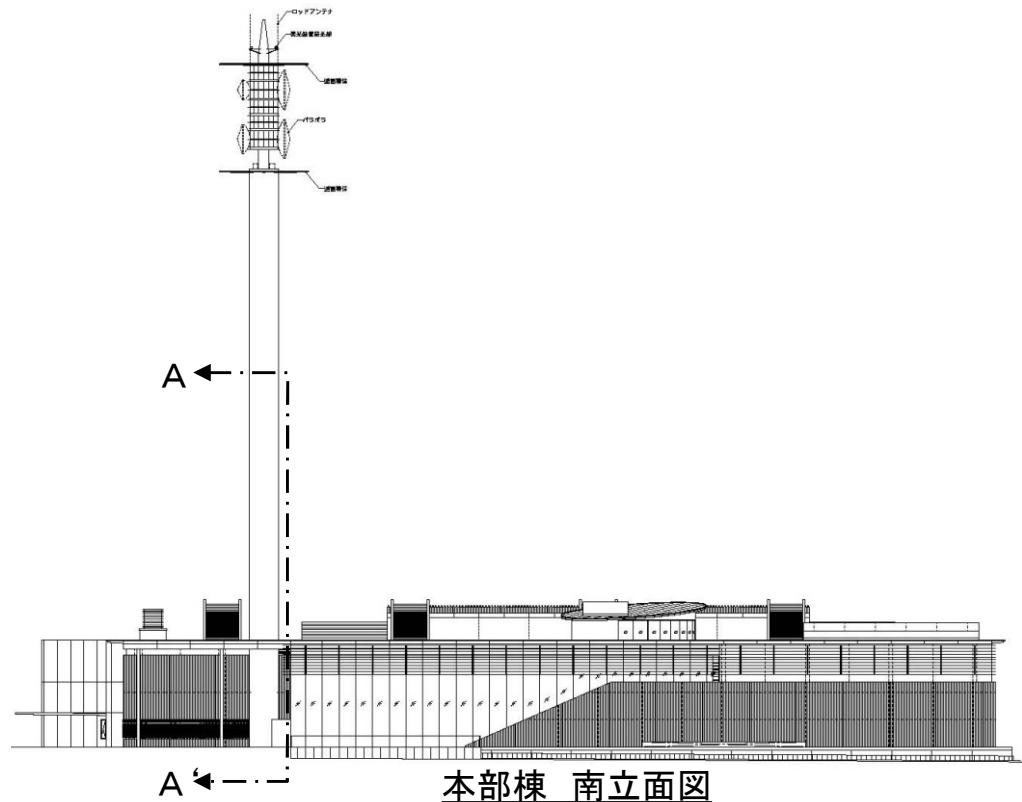
ゆりかもめ
↓

2階

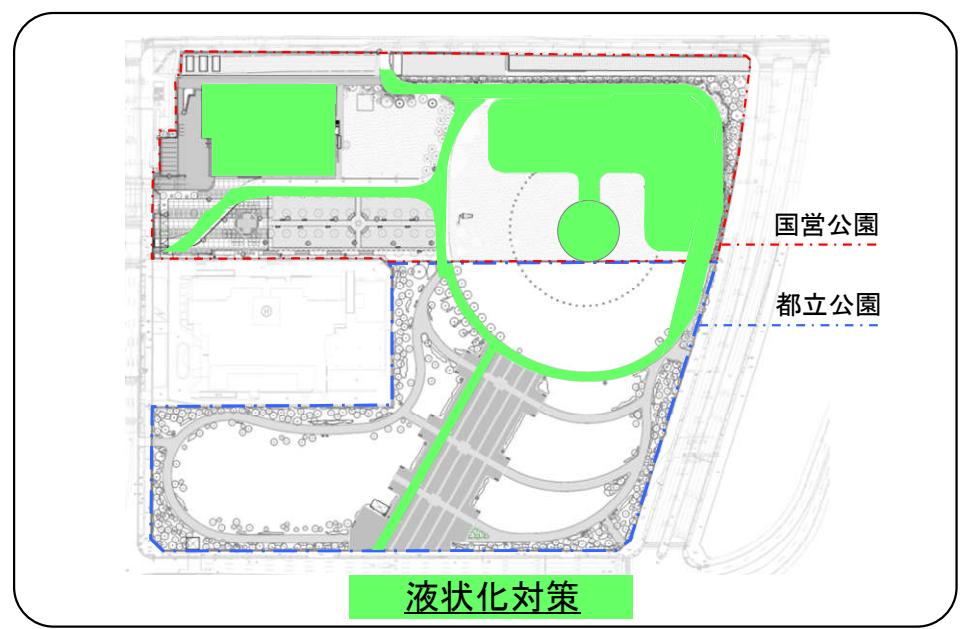
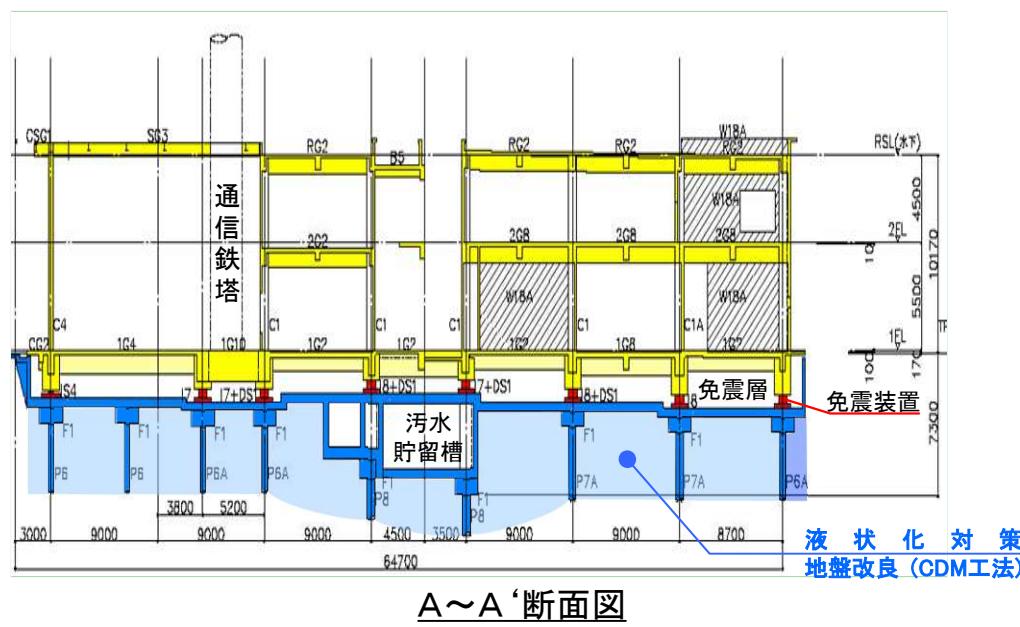


- 公園施設エリア
- 防災施設エリア
- 共用エリア
- 設備機械エリア
- 発災時防災用に転用

本部棟の免震構造・液状化対策



免震装置



液状化対策

発災時の運用イメージ



国営東京臨海広域防災公園の概要

位 置: 東京都江東区有明三丁目地内

面 積: 13.2ha (国営公園6.7ha、都立公園6.5ha)



防災体験学習施設（本部棟）

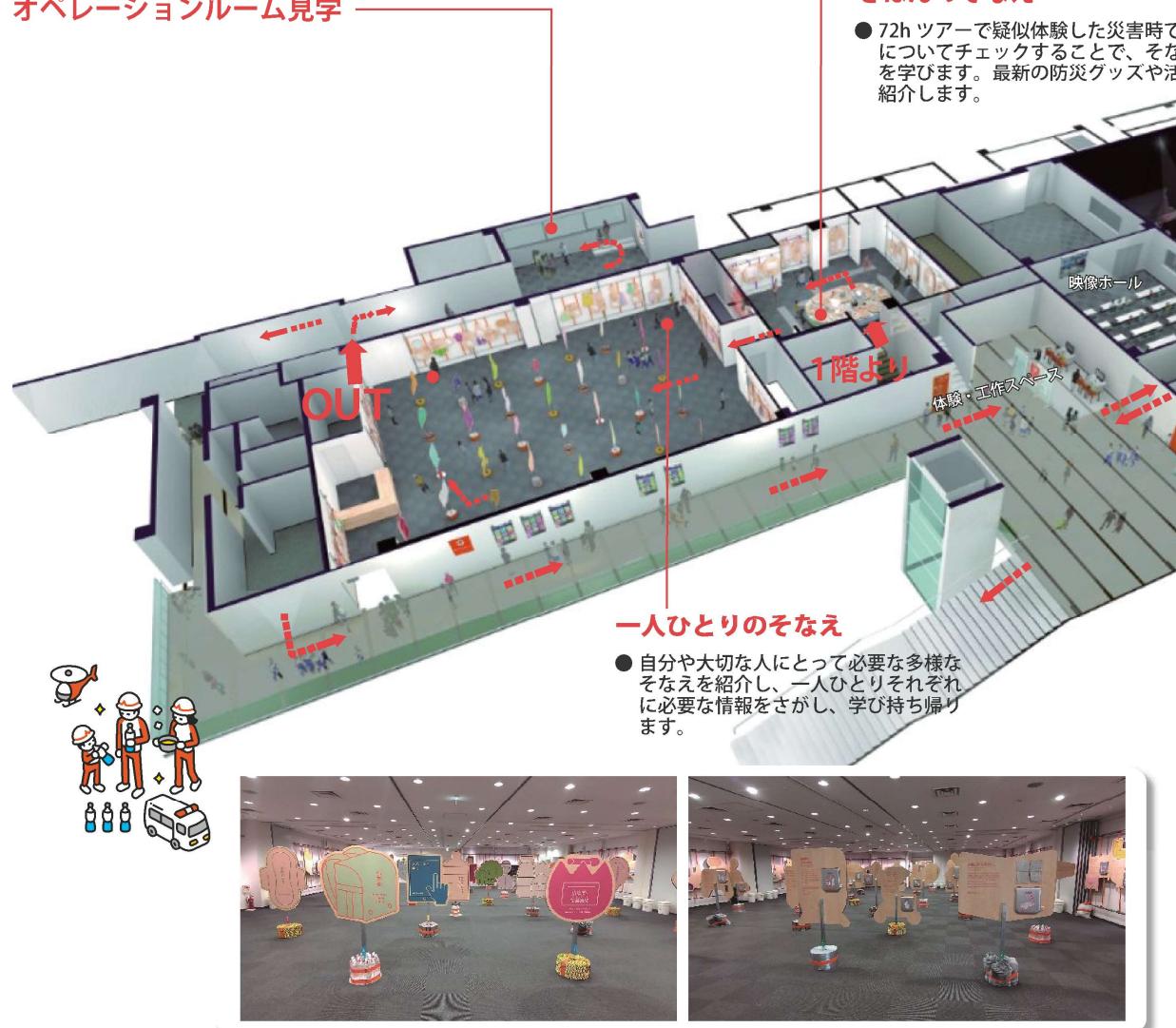
1F 防災体験ゾーン 首都直下地震の発災から避難までの流れを体験



防災体験学習施設（本部棟）

2F 防災学習ゾーン

オペレーションルーム見学



誰にでも知つておいてもらいたい基本のそなえと、1人ひとりそれが準備してもらいたい備えを学ぶエリアとして、2023年6月にリニューアル。

きほんのそなえ

- 72h ツアーで疑似体験した災害時のそなえについてチェックすることで、そなえの実践を学びます。最新の防災グッズや活用方法を紹介します。



一人ひとりのそなえ

- 自分や大切な人にとって必要な多様なそなえを紹介し、一人ひとりそれぞれに必要な情報をさがし、学び持ち帰ります。



災害時のそなえを自身が学ぶだけでなく、「そなえBOOK」として大切な人にプレゼントできるアプリを館内でダウンロードできます。

レクチャールーム

- 「防災」をテーマにした各種学習プログラムや講習会などにご利用いただけます。ご利用の際は別途申込みが必要です。管理センターまでお問い合わせください。

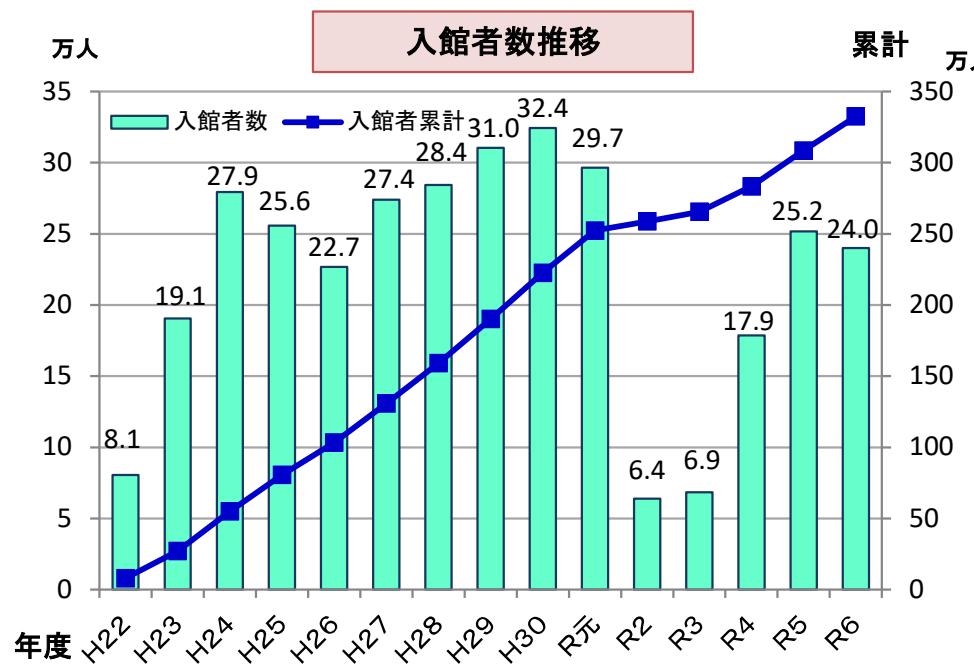
映像ホール

- 2009年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施設用に再構成した「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」を、大型プロジェクターで上映します。



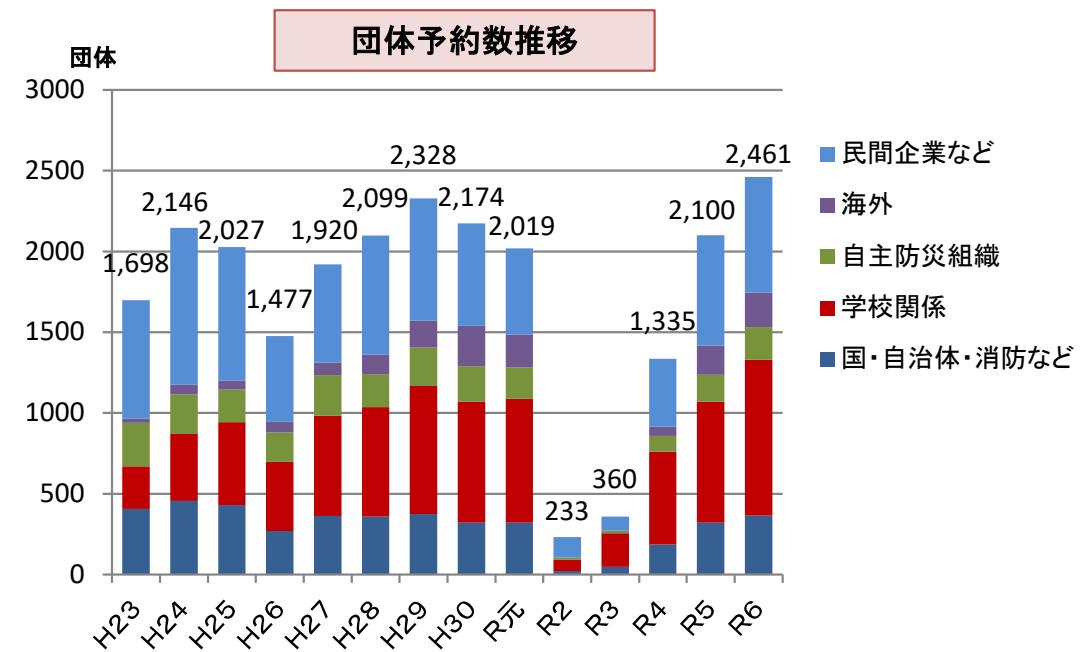
東京マグニチュード8.0
東京直下72h TOUR

【平常時】 防災体験学習（そなエリア東京）



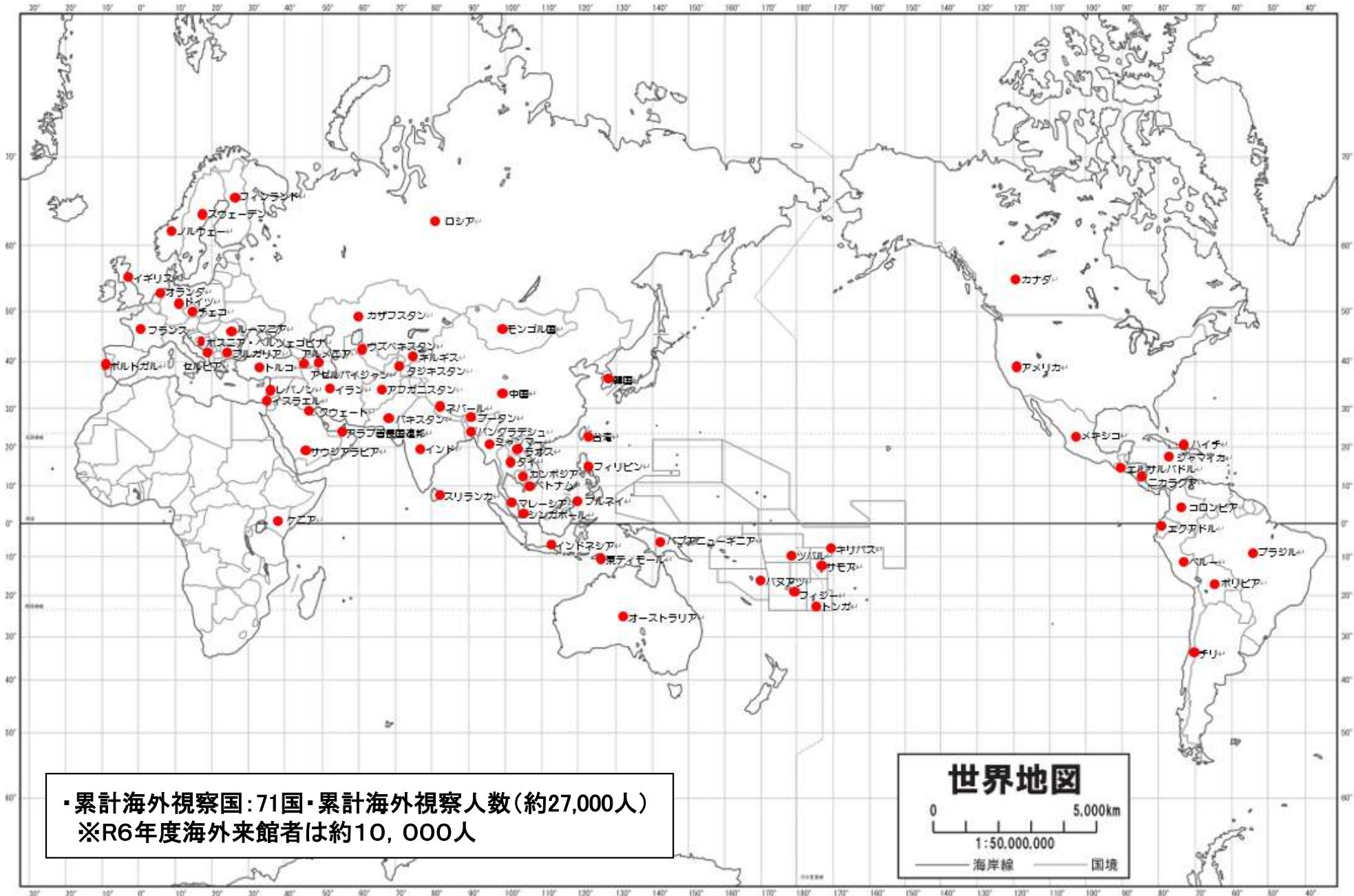
・累計入館者数:約333万人(R6年度:約24万人)

※H22年度は、7月から



・累計団体予約数:約24,000団体(R6年度:2,461団体)

海外からの視察状況



防災体験・学習、各種訓練の実施

ヘリコプターによる物資輸送訓練



【R7.8.30 令和7年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練】

発災後を生き抜くサバイバルプログラム



【R5.7.15 宿泊体験訓練 警視庁災害対策課協力】

首都直下地震対応 道路啓開訓練



【R5.8.3 関東地方整備局道路部】

防災体験学習プログラム



講師による防災学習



東京直下72hツア一体験学習



AEDを使った心肺蘇生法講習



非常食湯煎調理・実食体験

【R6.12.6 国土館中学校体験学習】

普及啓発・出前講座 の 実施

1. 17 阪神・淡路大震災



【写真で振り返る阪神淡路大震災】

3. 11 東日本大震災



【東北地方で起きた未曾有の災害】

9. 1 関東大震災



【東京都横網町公園から関東大震災に関する
映像やパネル展示】

防災関係イベント



水消火器体験



ボランティアによる防災ワークショップ

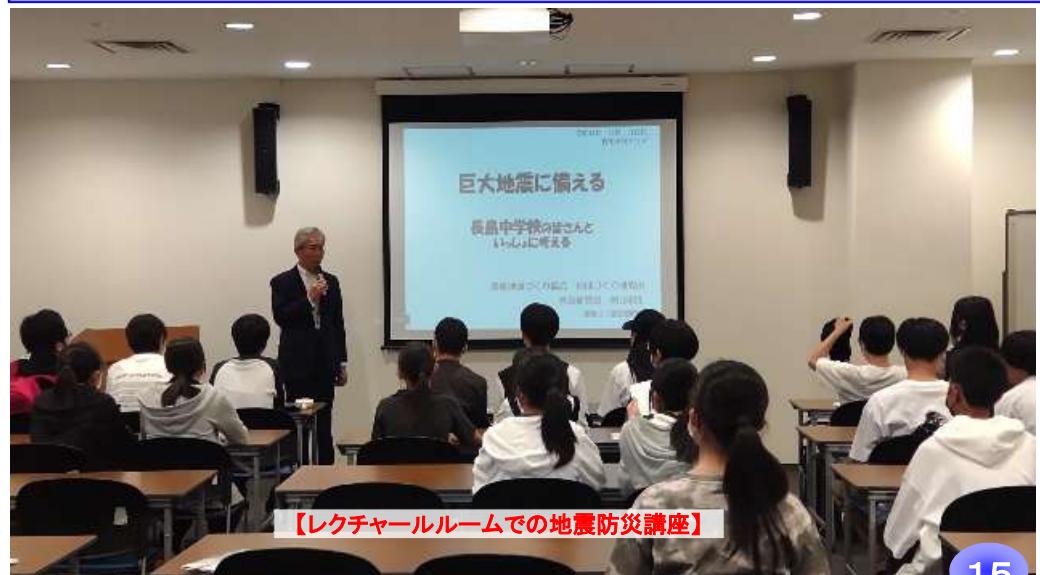


かまどベンチを使った湯煎調理実演



MR(仮想現実)による消火体験

地震防災 出前講座



【レクチャールームでの地震防災講座】

平時の公園利用状況



【熱気球イベント】



【紙飛行機教室】



【ヘリポート広場】



【屋上庭園】



【パークヨガ】



【バーベキューQ広場】



【エントランス広場】



【エントランス広場】



【ふれあい動物園】



【ガーデンクラブ】



【72hツアー】



【72hツアー】



【防災クッキング】



【体験・工作スペース】



【そなえカフェ】



【そなエリア東京入口】

交通アクセスとご利用案内



[最寄駅]

りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分
ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

[公園のご利用に関するお問合せ]

管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL 03-3529-2180 FAX 03-3529-2188

[ホームページ]

<http://www.tokyorinkai-koen.jp/>

[園地の開園時間] 6:00～20:00

休園日：年末年始及び臨時休園日があります。

[防災体験学習施設利用時間] 9:30～17:00(入場は16:30まで)

休館日：月曜日、第2火曜日
(祝日の場合は開館し翌日休館)
年末年始及び臨時休館日があります。

※本公園は「避難場所」ではありません。災害時には、他の公園などに避難してください※

ご視察・ご見学にあたって

- 施設内は禁煙です。
喫煙は指定場所でのみお願いします。
- 展示施設内は飲食禁止です。
- 館内の備品などにお手を触れたり、移動させたりしないでください。
- 内閣府所管の防災専用部分の写真撮影等は可能です。
ただし、記事やブログ等で公開されたい場合は、内閣府による事前確認が必要となります。
- 免震層は一部、梁の低い部分がありますので、ご見学の際にはヘルメットの着用が必要です。
- 一般用の来園・来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
(団体用バス専用駐車場はございます。)
- 大規模な災害発生時には、災害対策基本法に基づく緊急災害現地対策本部が設置され、政府の災害対策の広域拠点となり、臨時閉園いたします。
その際は、係員の指示に従って公園外へ速やかに移動してください。

■入園料・入館料：無料■